

第三世代が考える

ヒロシマ「」継ぐ展...

Hiroshima - 3rd Generation Exhibition : Succeeding to History

「広島サテライト会場」

戦争を体験していない世代がつくる、
参加して学べるヒロシマの企画展

| 会期 |

2018

7.29 (SUN)

~ 8.5 (SUN)

入場
無料

10:00-18:00 ※7/31(火) 休館

| 会場 |

CLiP HIROSHIMA 1F イベントスペース

〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-18

主催：ヒロシマ「」継ぐ展 実行委員会 助成：公益財団法人 仙台市民文化事業団、公益財団法人 カメイ社会教育振興財団
後援：公益財団法人広島平和文化センター、仙台市、広島市、仙台市教育委員会、広島大学、桃山学院大学、中国新聞社、NHK仙台放送局
TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、産経新聞社東北総局、読売新聞東北総局
毎日新聞社仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報 S-style、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2
協力：NPO法人メディアージ、デジタルハリウッド STUDIO、CLiP HIROSHIMA、Peace Porter Project、とらろろ流し実行委員会
HIROSHIMA SPEAKS OUT、路上芸術祭実行委員会、ひろしまじん大学、Lingua Franca、ワールドピースゲーム、ac design

 **CLiip**
CLiP HIROSHIMA



<http://tsuguten.com/>

企画展に関するお問い合わせは tsuguten2018@gmail.com



第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展 とは



戦争を体験していない世代(第三世代)が、「ヒロシマ」を継いでいく方法を考える企画展です。2015年から東京在住の30代が中心となり、若い世代や親子連れに向けた平和学習の場所を考え「体験」をともなった参加型の形をとりながら、携わった人たちの自主性を促す学びの場をつくっています。

「継ぐ展2018」本展会場は、東京(2015・2017)・横浜(2016)を経て、2018年は東北地方初の宮城県仙台市にあるせんだいメディアテーク(8月10日~8月15日)で行われます。広島サテライト会場では、常設展やイベントを通して、広島の人たちの考えを集め、展示の一部を仙台会場へ移動して想いをつなげます。
※企画展タイトル名の「」は、関わった人たちが心で感じたことを「」に込め、それぞれの方法で未来に継いでほしいという思いを込めています。

イベントのご紹介 | 参加して考える映画上映会やワークショップ

8/3 金



「この時代の双葉社」/「この世界の片隅に」製作委員会

アニメ映画「この世界の片隅に」上映会

日本が戦争の中にあつたころ。軍港の街・広島のみにお嫁にやってくる18歳の娘、すずさんは、見知らぬ土地で健気に毎日の生活を紡いでいく。戦火にさらされ大切なものを失っても、前を向き生活を続けるすずさんの日々を描く。

【日時】8/3(金) (上映時間:2時間9分)
1回目 開場 10:00、上映 10:30~
2回目 開場 14:00、上映 14:30~
【参加費】無料 【定員】各回100名

【協賛】広島トヨペット株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、JR西日本プロパティーズ、株式会社トータテ都市開発、広島電鉄株式会社、一般社団法人hitoto広島タウンマネジメント

【トークショー&ワークショップ】

継ぐ展代表の久保田涼子が「継ぐ展をはじめたきっかけ」をお話するトークショーと、来場者の方々に参加していただきながら継承について考えるワークショップを開催。

【日時】8/3(金) 13:00~
●久保田 涼子(「ヒロシマ」継ぐ展実行委員会代表)

8/4 土 5日 日



広島を学ぶモチーフを組み合わせてオリジナルバッグやTシャツをつくらう

折り鶴やキョウチクトウ、灯ろう流しといった、広島に関連するモチーフをバッグやTシャツにプリントしたり、消しゴムはんこを捺したりしながら、イラストの意味を学んでいきます。作ったグッズはお持ち帰りいただけます。

【日時】8/4(土)、5(日)11:00-16:00

- ライブプリント: 株式会社デイズ
- 消しゴムはんこ提供: 津久井 智子

【料金】2,000円(Tシャツ)
1,000円(トートバッグ、Tシャツキッズサイズ)
800円(A4バッグ)
500円(巾着)

8/4 土

紙の恐竜展

2018 7月21日 - 8月19日
CLIP HIROSHIMA



紙の恐竜展制作者トークショー 「紙の恐竜の制作を通してヒロシマを伝えていく」

継ぐ展と同時開催の「紙の恐竜展」制作者のトークショー。戦後の広島で祖母からピカの話聞きながら育った。こども造形教室で出会った子どもたちの影響で恐竜に興味を持って研究を進め行くうち、人間の勝ちな思考や行動が戦争や環境破壊に繋がっていることに気づく。紙の恐竜制作を通して次世代に継ぐ活動をしている。



【日時】8/4(土)11:00~12:00
●ゲスト: 亀井 由美子(カメイ造形研究会)
【参加費】無料

8/5 日



「おりづると、ヒコキー」 ~川本省三さんにさく、ヒロシマのはなし~

原子爆弾によって家族と離れ離れになり、原爆孤児として生き延びた川本さん。焼け野原を家族と離れ、ひとり生きてきた小さな子どもたちは、どんな街を見てきたのでしょうか。川本さんが幼い頃、お母さんに教えてもらった紙ヒコキーと一緒に折りながら、川本さんの人生を聞いたり、お互いの話をしたりして過ごします。川本さんの暮らす街、私たちの暮らす街、ヒロシマ。今改めて街に刻まれた記憶に触れ、街のあり方、私たちのこれからについて語り合ひましょう。

【日時】8/5(日)13:00~15:00
●ゲスト: 川本省三
(被爆体験証言者:(公財)広島平和文化センター委嘱)
【参加費】無料 【定員】20名
【共催】ひろしまシン大学

イベントに関するお問い合わせ | CLIP HIROSHIMA TEL. 082-567-5011

仮想空間にあなたの想いを込めた
灯ろうが流せます。



Message for peace
Floating Lantern
メッ
セー
ジ
灯
ろ
う
に
込
め
る

<http://message.tsuguten.com>
※PC・スマートフォン、いずれも利用可

常設展

- ・あなたができる平和へのアクション
- ・みんなの「考える」声
- ・灯ろうに込めるメッセージ
- ・ヒロシマの記憶を継ぐ人インタビュー展示
- ・ヒロシマ関連絵本・書籍コーナー
- ・継ぐ展の軌跡パネル、アーカイブ動画



灯ろう流し会場 継ぐ展ブース

灯ろう流し会場の中で、仮想空間の川に流された灯ろう流しの投影や、被爆者や伝承者にインタビューを行ったパネルなどを展示します。

【日時】8/6(月)お昼過ぎから
【会場】原爆の子の像付近 継ぐ展ブース
〒730-0811 広島県広島市中区中島町1

アクセス



CLIP HIROSHIMA [1Fイベントスペース]
〒730-0053 広島県広島市中区 東千田町1丁目1-18
TEL: 082-567-5011

企画展全体に関するお問い合わせ先
TEL: 080-1916-8638 (継ぐ展実行委員会)
MAIL: tsuguten2018@gmail.com

<http://www.facebook.com/tsuguten/>
[@h_tsuguten](https://twitter.com/h_tsuguten)
<http://www.instagram.com/tsuguten/>